

児童生徒が使う I C T 研修 1 (2部)

活動の振り返りのために
～タブレットのカメラ機能を活用して～

児童生徒が使うICT研修1「活動の振り返りのために」を始めます。
(★)

研修のゴール

タブレットを活用した振り返りを体験し、そのよさについて話し合い、共有する。

研修のゴールは、「タブレットを活用した振り返りを体験し、そのよさについて話し合い、共有する。」です。

(★)



1部では、画面のような学習活動において、タブレットを用いて客観的な振り返りができることを説明しました。

タブレットによる振り返りは、学習活動に限らず、様々な活動において行うことができます。

今日は、実際に先生方にある活動をしてもらい、タブレットで振り返り、改善してもらいます。

さて、その活動とは・・・

(★)



「面接」です。
先生方に面接を受ける子ども役になってもらい、タブレットで振り返ってもらいます。
(★)

研修の流れ

1 ペアで面接、撮影

2 振り返り、再チャレンジ

3 よさの話し合い

研修の流れは大きく三つです。

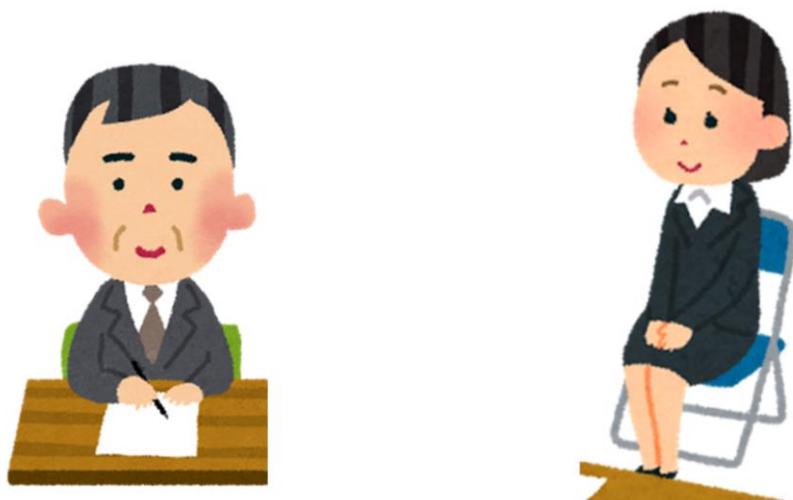
まず、ペアで面接を行い、撮影します。

次に、撮影した映像で振り返ります。改善点を把握した上で再チャレンジし、再び振り返ります。

最後にタブレットを用いた振り返りのよさについて話し合います。

(★)

(1) 面接官役、子ども役を決定 1分



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

まずペアになり、面接官役、子ども役を決めましょう。
時間は1分です。

(★)

(2) 撮影準備→面接開始

3分



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

面接官はタブレットで撮影準備をします。
準備ができたらいよいよ面接開始です。
時間は3分です。
(★)

面接の質問



- ①この学校のいいところを具体的に答えてください。
- ②この学校の子どもたちのよさを具体的に答えてください。
- ③あなたのよさを具体的に答えてください。

面接官は撮影しながら、画面の三つの質問をしてください。

(★)

(3) 活動の振り返り

3分

- ①目線について
- ②話す速さについて
- ③声の大きさについて

振り返りの気付き



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

撮影した映像を見ながら活動を振り返りましょう。

振り返りの視点は三つです。

一つ目は、「目線」について。

二つ目は、「話す速さ」について。

三つ目は、「声の大きさ」についてです。

よかった点、改善点を話し合しましょう。必要に応じて、ワークシートの「振り返りの気付き」の欄に記入してください。

時間は3分です。

(★)

(4) 振り返りを生かして再活動 3分



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

では、振り返りを生かして再度活動をしましょう。
時間は3分です。
(★)

面接の質問



- ①この学校のいいところを具体的に答えてください。
- ②この学校の子どもたちのよさを具体的に答えてください。
- ③あなたのよさを具体的に答えてください。

面接の質問です。

(★)

(5) 活動の振り返り

3分

- ①目線について
- ②話す速さについて
- ③声の大きさについて

改善された点



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

先ほどと同じ振り返りの視点で、今度は改善された点について話し合しましょう。必要に応じて、ワークシートの「改善された点」の欄に記入してください。時間は3分です。

(★)

(6) 話し合い

5分

児童生徒が振り返りを タブレットで行うよさ



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

これまでの活動を通して、児童生徒がタブレットを用いて振り返るよさについて話し合
いましょう。

時間は5分です。

(※5分後、各ペアに発表してもらいます。時間がないときはいくつかのペアを指名しま
す。)

(★)

まとめ

タブレットの特性

◆ **即時性** ◆ **保存性**

すぐに振り返り → 課題発見
以前と比較 → 変容把握

振り返り効果が高い



やまぐち総合教育支援センター

児童生徒が使うICT

タブレットには「即時性」「保存性」といった特性があります。

(★) 即時性により、すぐ振り返ることができ、課題の発見につなぐことができます。

(★) また、保存性により、活動を撮りためておき、比較しながら変容を確認することもできます。

(★) こうした特性を生かすことで、振り返りの効果が高まることが考えられます。

(★)

まとめ

事前指導の重要性

■ 振り返りの視点の明確化

■ 操作方法の指導

一時停止、スロー再生、リプレイ etc

ただし、振り返り効果を生かすためには、留意すべき点があります。

一つは、振り返りの視点を明確にしておくことです。

もう一つは、操作方法を指導しておくことです。

たとえば、一時停止、スロー再生、リプレイといった操作方法を指導しておきます。

そうすることで、振り返りの視点に沿った再生がなされ、適切な振り返り、再考が行えます。

(★)